

北小ものがたり



11月19日 児童会役員選挙が行われました

次年度へ向けて

12月1日までの予定で行われた個別懇談でしたが、保護者の皆様のご協力ありがとうございました。担任のインフルエンザ等の罹患により、予定を変更せざるを得ないクラスもありましたが、おおむね、予定通りに終了することができました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

この時期に行われる個別懇談は、学年初め（4月）に行われた個別懇談と違い、これまでの成果と課題を学校と保護者の皆様と確認・共有して、次（3学期や来年度）につなげることを主な目的としています。今回の懇談を通して、担任としっかりお話ができたでしょうか。15分という短い時間設定ですので、話し足りないこともあったかもしれません。個別懇談は終わりましたが、お子様のことで気になることがありましたら、いつでも結構ですので、遠慮なく担任までご連絡ください。

個別懇談で、若干話題となったことがあります。それは、子どもたちの下校ルートのことです。学校では、原則的に、登校ルートと同じ道を下校するように児童には指導しています。また、保護者の皆様にはそのようにご指導をお願いしているところです。最近、そのことが一部守られていないという相談がありました。

登下校時、定められた通学路を使用することについてお願いすることの理由としては、①定められた通学路は、学校や保護者、地域の方々の合意で決められたものであり、安全性が高い。②下校中、万一、ゆくえがわからなくなったときに、迅速に対応できる。③万一、通学中に事故に巻き込まれた時、日本スポーツ振興センター法によりいわゆる「学校の管理下」として認められ、災害給付の対象となるが、「通常の経路及び方法により通学」しない場合、通学中の事故に対しても災害給付の対象にならない。などがあります。ご家庭でも、通学路を使用して下校するように、ご指導いただくと同時に、③の場合であっても、「その他の

やむを得ない事情により、一時的に普段の通学方法以外をとった場合については、「通常の方法」とみなされ、災害共済給付の対象となる可能性もある」との規定もあるので、やむを得ない場合や、特段の事情がある場合は、学校にご相談ください。

11月14日に来年度の1年生が受診する就学時健康診断がありました。元気な年長さんが期待と緊張感をもって参加してくれました。引率の保護者の方も緊張していたかもしれません。本日現在、来年度本校への入学予定者は90名です。県教育委員会が示している、1学級の最大人数は1年生から4年生までは25名なので、来年度の1年生は本年度と同様、4クラスということとなります。また、昨年度からになります。5年生から6年生以外は、各学年クラス替えをすることは来年度も変わりません。

児童会行事でも、11月19日には児童会役員選挙の立会演説会・投開票が行われ、来年度の児童会役員が決まりました。どの候補者・責任者の姿勢も大変立派なもので、来年度へのやる気を感じさせるものでした。次いで行われた投票ですが、市の選挙管理委員会からお借りした本物の投票箱と記載台を用い、投票することができました。

学校では、このように、年末・次年度へ向けて、取り組みが進んでいます。一部紹介いたしました。

6年生 がん教育（学校ホームページより）

国民の2人に1人ががんにかかる時代。学校教育においても、児童生徒の発達段階に応じた「がん教育」



が実施されるようになりました。がん教育は、健康教育の一環としてがんについての正しい理解と、がん患者やその家族など、がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図ることを目的としています。



11月12日に、「サンスマイルえがお」の清水さんにお越しいただき、がんについて学ぶ授業をしていただきました。

ご自身の体験をもとにしたお話に子ども達は真剣に耳を傾け、どんなことを知っておくべきなのか、どんなことができるのかを、しっかり考えていました。

3年生 体育を頑張っ取り組む

2学期も残りわずかとなりました。11月は児童会役員選挙があり、初めて投票をする立場にもなりました。これからもたくさんの経験を積み重ねながら、毎日の生活が充実するよう、支援していきたいと思います。ご家庭でも、温かな声かけをよろしく願います。



3年生は、体育の授業でティーボールとハードルを校庭で行いました。ティーボールでは、チームで作戦を考えながらプレーしました。作戦がうまくいった時や、チームの仲間がいいプレーをしたときには拍手をするなど、友達と楽しく取り組むことができました。

また、ハードルの授業では、はじめは障害物を飛び越えるだけの動きが、回数を重ねるにつれて、友達と気づいたことを伝えあいながら取り組み、上達することができました。授業を進めていく中で、友達との教え合いを重ねた結果、子どもの中から「うまくできた」という声が増えてきたように思えます。また、上手にできた友達に、ハイタッチや上手にできたポイントを伝える姿も見られました。



これからも友達と一緒に楽しく、体育を楽しく受けられるように、支援していきたいと思います。